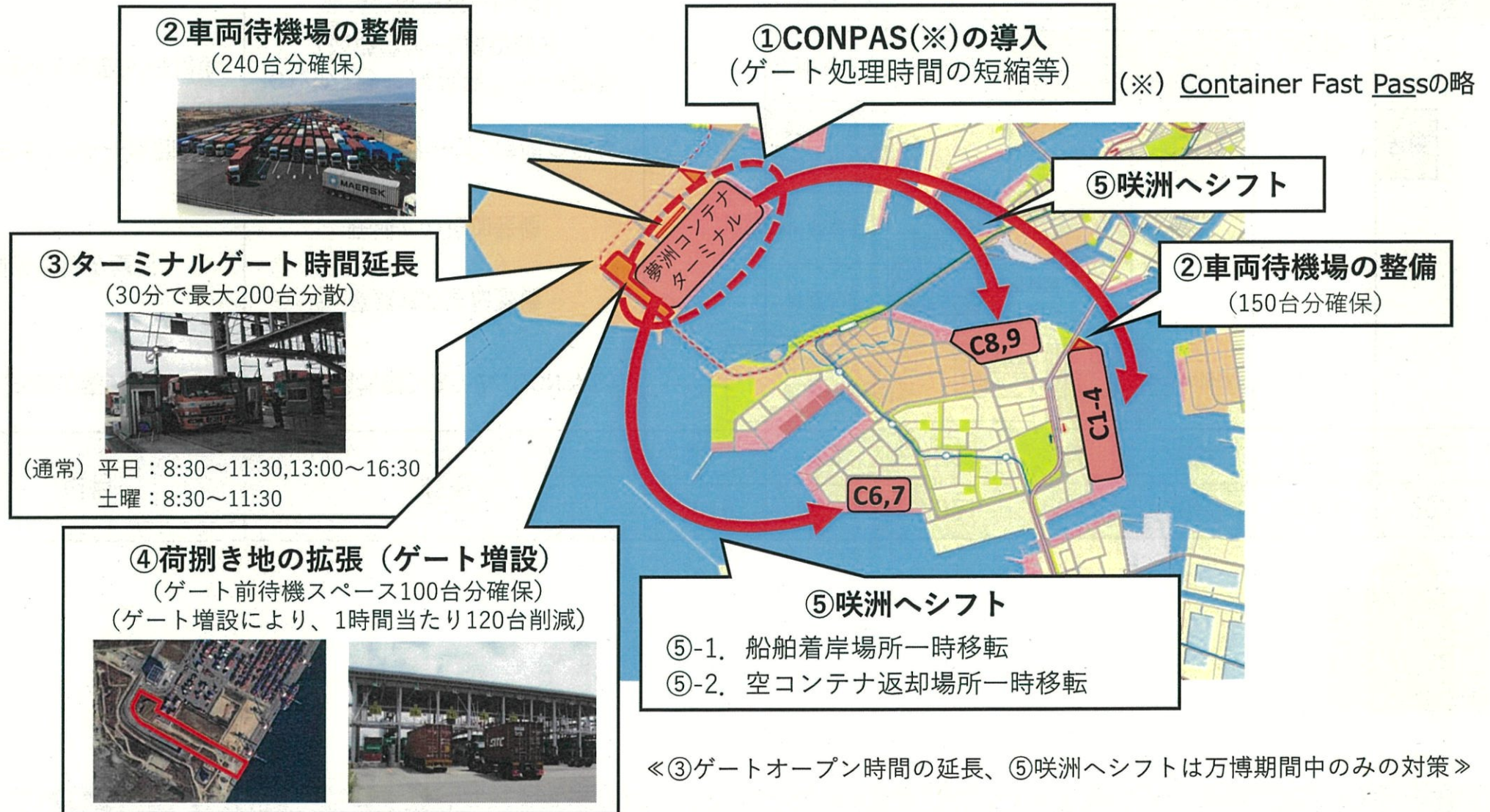


万博開催時の物流交通対策（案）

- 現在も夢洲では、コンテナ車両が集中する日・時間帯において、道路上にコンテナターミナル入場待ち車両の滞留が発生する場合がある。
- さらに、2025年日本国際博覧会開催に伴い、交通量が増加し、円滑な交通が阻害される恐れがあることから、万博来場車両のみならず、物流車両についても交通円滑化のための対策が必要となっている。



(写真はイメージ)

物流交通対策概略工程（案）

万博
開催
R7.4.13～10.13

項目	概要	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
①CONPASの導入	新・港湾情報システム(CONPAS)		概略・詳細設計、試験期間中の改修 R4.1.27-28 試験運用等		順次導入		本格運用	
②車両待機場の整備	夢洲での追加整備		詳細設計	工事	R4.1.31～供用開始			
	咲洲での追加整備		概略設計	詳細設計	工事	供用開始		
③ターミナルゲート時間延長	早朝等ゲートオープン時間の延長	社会実験 検討・協議等				社会実験		実施
④荷捌き地の拡張(ゲート増設)	C12コンテナミナル拡張※、ゲート増設(※増設ゲート周辺部分)	検討・協議等	詳細設計	コンテナターミナル拡張工事 増設ゲート工事		システム導入	運用	
⑤咲洲ヘシフト	船舶着岸場所一時移転 空コンテナ返却場所一時移転	検討・協議等	詳細設計	ガントリークレーン整備		試行期間	本格稼働	
			社会実験 R3.10実施	社会実験		社会実験		

進捗状況 1

① 新・港湾情報システム (CONPAS) の導入

【イメージ図】



《導入スケジュール》

- ・令和4年1月27日、28日 大阪港 (DICT) において試験運用を開始。
 - ・令和4年度以降、引き続きDICTにおいて試験運用を実施。
- ⇒ 令和5年度までの本格運用をめざす。

※工事車両運行管理システムとCONPASの連携

- ・CONPASにおけるコンテナ車両の事前予約情報 (時間帯ごとの搬出入台数) を工事車両運行管理システム側へ提供する等、情報連携に向けて検討中。

進捗状況 1

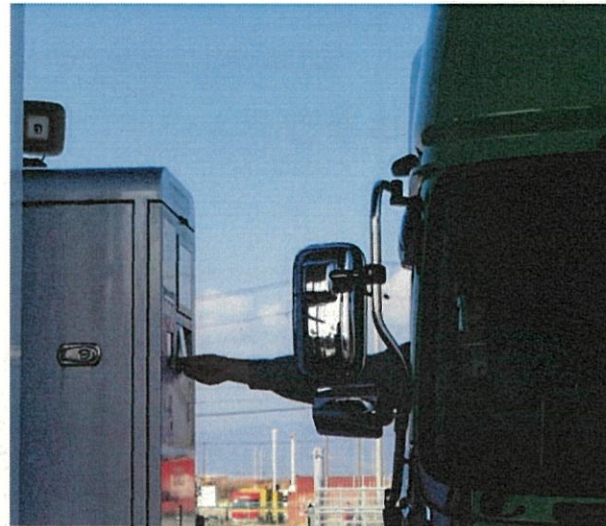
① 新・港湾情報システム (CONPAS) の導入

■ DICTにおける試験運用の様子

令和4年1月27日, 28日に夢洲コンテナターミナル(株) (DICT) が運営するコンテナターミナルにおいて試験運用を実施



① CONPAS予約車のターミナル到着



② INゲートでの入場手続き
(PSカードの読取り)



③ ドライバーに貸与した
携帯端末へのヤード内
行先表示
(コンテナ蔵置場所表示)



《実施概要》

- ・ 時期：令和4年1月27日, 28日
- ・ 場所：夢洲コンテナターミナル (DICT)
- ・ 参加社数：海運貨物取扱業者 4社
海上コンテナ輸送事業者 4社
- ・ 実施本数：14本
- ・ 実施内容：営業コンテナ (輸入コンテナの搬出) を対象としたシステムフローについて一連の動作確認
⇒ システムが問題なく稼働することを確認

- ④ ヤード内でのコンテナ積み込み作業
- ⑤ OUTゲートでの退場手続き
- ⑥ CONPAS予約車のターミナル出発